

就労継続支援A型 あかつき作業所
 就労移行支援 セルフあかつき
 就労継続支援B型 あかつき授産所
 就労移行支援 スペース・まどか
 就労継続支援B型
 武蔵村山市障害者就労支援センターとらい
 瑞穂町福祉作業所 さくら
 瑞穂町障害者就労支援センター
<http://akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

あかつき



竜頭の滝

スポット

- ・ 新年あいさつ
- ・ さくら近況報告
- ・ 瑞穂町障害者就労支援センター開設
- ・ 新人紹介

第62号 2012年1月1日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

新年あいさつ



理事長
鈴木 賢一

あけましておめでとうございます。昨年を振り返りますと、先ずは三月十一日に起こった東日本大震災が思い出されます。それ以降、経済が非常に悪い方向に向かいました。全てが自粛モードに向かい、又円高やタイでの洪水等、悪い事が続々と起こりました。しかし私は六月に理事長に就任しましたが、それから二つ良い話があつた。一つは瑞穂町の就労支援センターの話が決まりました。既に去年の十二月よりスタートしております。二つ目は皮革事業の話でございます。既に東京都への申請手続きも終わりましたので、今年度中にはこちらもスタートで

きそうです。この話は非常に偶然にも私の旧知の友人に紳士ベルトを製造している人がいて、彼により有形、無形の協力が貰えそうです。既に去年の忘年会では景品にベルトがプレゼントされましたし、安い皮の供給も約束してくれております。先ずは名刺ホルダー等の製造を企画しており、世間的には非常に悪い話ばかりでございましたが、私の理事長就任の一年目にあたっては非常に良いスタートを切る事が出来ました。

前号で予告しましたので私のヨーロッパ留学について少し話をしたいと思います。私は成蹊大学を卒業した際、昭和四十二年の八月に西独

に留学しました。一九六七年ですから四十五年前の話でございます。色々な難しい問題がありました。一番の問題はお金の問題でした。当時は外為法という法律があり、外国に出る際には、一回米五百ドルしか換金できませんでした。そして公式レートでは一ドル、三百六十円でした。今のレートが一ドル、七十七円位ですから、大変円が弱かったということです。しかも円を直接ヨーロッパの銀行に持って換金しますと、一ドル約四百円位しか交換できませんでした。しかもカードもありませんでしたし、お金の問題が非常に大きな問題でした。どう生活してたか申しますと現地でのアルバイトでした。労働ビザもなく、大学の食堂で昼と夜、二回、約四時間働いていました。一番嬉しい事は二回も腹一杯食べる事が出来たという事です。そこで知り合ったのが越後製菓の会長山崎彬さんです。今でも非常に懇意にしています。が、当時も非常に助けられました。その次に問題になっ

たのは欧州への渡航方法です。今では信じられない事です。が、先ず横浜から船でロシアのウラジオストク迄行き、それから汽車でハバロフスク、そしてモスクワ、そしてウイーンです。約一週間かかるという事です。勿論ジャルも飛んでいましたが、当時のお金で約二十五万円でしたので、とても飛行機でヨーロッパには行けません。大変なヨーロッパ留学でございましたが、なんとか西独に一年と八ヶ月、英国に約三ヶ月の貧乏生活でしたが、やりとげる事が出来たのも、父の絶大な協力があったからだ。今でも感謝しております。しかし父の病気が悪化しているという手紙をもらい、そしてもうこれ以上金銭的にも頼めない状態でしたので帰国の決断をしました。日本に帰る前に友人も出来たので、一人でヒッチハイクと友人の家に泊めてもらうというスウェーデンの貧乏旅行に出ました。先ず私が発したのはハイデルベルグです。それから西独の当時の首都ボンに

行きました。当時私はハイデルベルグ大学に在籍していましたが、そこで内田君という日本人と知りあいて、彼が家に泊っていいよという招待を受け、彼の家に行きました。そうしましたらびっくりしました。なんとそこは西独の大使の公邸でした。そしてもう一つ驚いた事に、今世界的に有名なピアノリスト内田光子さんが彼の妹だったのです。彼の家族の好意により、約一週間公邸に居候をし、内田光子さんのピアノを毎日聞いて楽しい日々を過ごしました。今この原稿を書きながら、当時の私の服装を思い出すと、日の丸の旗を貼ったリックサックと全身の衣装はいわゆるヒッピーみたいなよれよれな服装で、非常に恥ずかしい想い出です。それからデンマークのコペンハーゲンに行き、スウェーデンのイエーテボリ迄行き、大変素晴らしいヒッチハイクの旅でした。

最後になりましたが、今年も皆様にとって健康で良い年でありますようお願いしています。



常務理事
高橋 毅

昨年3月11日に発生した東日本大震災により多くの人命が犠牲となり慎んでご冥福をお祈りするとともに、甚大な被害に遭われました皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災により多くの福祉施設や障害者の方々も被害にあいました。あかつきコロニーからは4人(延べ5人)が日本障害フオーラム(JDF)みやぎ支援センターへ人員派遣を行い微力ながら被災地の障害者支援を行いました。まだまだ復興が進まない現実もありますが、一日も早い復興を望みます。

かねてからの不況に東日本大震災が発生し、その上円高等で日本経済が冷え込む中、当法人の就労支援事業も大きな影響を受け非常に厳しい事業経営を強いられています。

一方障害者福祉施策は平成25年度実施予定の障害者総合福祉法(仮称)の施行に向け、

昨年8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会において障害者新法の骨格提言がまとまり、現在は国において提言を基に新法を策定しているところで。骨格提言は従来の反省を踏まえ、当事者の意見を取り入れた内容となっており、予定では平成24年度中には総合福祉法の内容が示されると思えますが、どの程度提言が反映されるか不透明なところです。

振り返るとここ10年で障害者福祉制度が目まぐるしく変わり、私達施設を運営する者や当事者にとって振り回され続けた10年でした。平成15年4月にそれまでの措置制度から利用者と施設が対等の立場として契約を交わす支援費制度がスタートしましたが、平成18年4月には現行の障害者自立支援法が新たに施行され利用者への応益負担で自己負担が増加、施設事業も日額制となり、当事者、事業者にとって大きな影響が出ました。障害者自立支援法は毎年のように見直し

が行われ続け、そして今度の総合福祉法となります。

この間施設の体力は疲弊し、障害者自立支援法に対応するため対処療法でなんとか凌いできた状況です。同時に昨年4月に施設入所支援を廃止し法人全体が通所施設となりその体制づくりに取り組んできました。その体制づくりもそろそろ目途を付けたところですが、まだまだ福祉制度自体が不安定で予断はゆるされない状況が続いています。次に出来る総合福祉法には長期に続く制度を期待するところです。

これだけ目まぐるしく変わった障害者福祉ですが、障害者の就労支援の強化はこの間推し進められ一般就労も少しずつですが成果が出てきています。あかつきコロニーにおいても地域の障害者の就労支援を行う武蔵村山市障害者就労支援センターとらいで20名前後、就労移行支援セルフあかつきでも2、3名の一般就労者を年間で出しています。従来からの障害者の働く場としての役割を担うと共に、自立支援という側面も一定の役割を果たしていると思

ます。今の苦しい社会情勢の中、障害者の就労支援の向上を果たせているのは職員並びに利用者の努力のたまものと深く感謝しております。

もう一点この10年で大きく変わった点があります。それは地域主体の取り組みです。措置制度の時代は実際のところ市内の横の繋がりはそれほどありませんでした。しかし今では喫茶コーナーにおける市内作業所との共同運営や花壇管理、就労ネットワーク会議や自立支援協議会への参加等、地域の横の繋がりが年々強化されてきています。これは自立支援法の目的に地域で障害者を支えるという理念に他ならない部分ではありますが、他方専門性と困難性が進む障害者福祉を背景に自然に培われてきた協力体制だと思えます。これらの横の繋がりは身近に相談しあえる仲間がいるということでも非常に心強く感じますし、今後も益々強化されていくことと思います。昨年には地域の小学校におけるコミュニケーションスキルの準備委員にも参加しており、あかつきコロニーが今後地域に

どの様に貢献していけるかが問われてくると思います。

今年も地域、関係機関、団体等皆様のお力をお借りして、目まぐるしく変わる環境の変化に対応してまいりたいと考えております。また役員、全所員の力を発揮していただいてこの一年を乗り切っていきたいと思えます。あかつきコロニーの理念「共に働く、共に生きる、共に創る」の精神で皆様頑張ってくださいませう。



就労継続支援A型

あかつき作業所

施設長 永井 眞

慎んで新年のご挨拶をもうしあげます。昨年の未曾有の震災に遭われた皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。また、同時におきた原発の問題は今も非常に重い影を社会に投げかけています。我々日本社会が抱えて解決していかなければならない問題はリーマンショック以降の不景氣に加えさらに大きくなっています。

これらの問題にどう立ち向かっていけばいいのか、暗中模索といったところでしょうか。そんな中での総合福祉法は、我々就労支援事業者にはどのような方向を現実的に示してくれるのか、期待と不安の中で注目しています。

あかつき作業所の就労支援事業活動においては、全体的な不況の影響は大きく、特に印刷事業においては、新たな発注の減少だけでなく価格破壊に充当するような価格相場の下落がみられ、非常に厳しい状況を抱えています。年度末に東日本大震災があり、計画停電によるDTPパソコンや印刷関連設備機器の停止、用紙、インクなどの調達にも大きな影響ができました。本来なら繁忙期の3月で年度中の補填を行ってきましたが、震災による前述の影響で外注コストがかさみ、結果として大きな落ち込みがでている状況です。また、今年度に入り印刷機器メーカーや取引ディーラーの相次ぐ倒産は印刷事業の厳しい現状を如実に表しています。今年以降は印刷事業は大きな転換期をむかえているといえます。

就労移行支援・就労継続支援B型

スペース・まどか

施設長 遠藤 至子

新年あけましておめでとございます。

昨年は色々な事が起きました。あの東日本大震災に始まり、震災後の生活不安、欧州金融危機、タイの大洪水…、外に目を向けるとときりがありません。影響はしっかりとありました。スペース・まどかに於きましては、就労継続支援B型と就労移行支援の二つの機能を有した多機能型事業所として昨年4月1日より新たなスタートを切りました。

着々と準備を進め、いよいよスタートを切るぞ、という矢先の東日本大震災でした。利用者さんの中にはこの様な要因が絡み、体調を崩された方もいらっしやいました。それでも、各々が時間をかけ、少しずつ気持ちの平常を取り戻し、現在に至っています。

精神障害の方は変化に対応し難い、という課題を抱えて

また、給食部の就労支援事業では、スタート時に比較すれば安定した状態にはありますが、予定食数確保にともなう当日欠食対応や、調理設備の老朽化、体調不良による就労状況等課題が多く見受けられますが、全員が雇用契約を結んでいる利用者者ですので、昨今の社会情勢の中で非常にハードルが高いといわれている施設のA型雇用としては健闘していると思われます。ただし、あかつき作業所全体でみると残念ながら給食部門を含めても定員には満たない状態です。ただ、このような社会情勢の中ではA型雇用者の受け入れ先を確立していくことは、我々のような施設が持つている重要な社会的使命でもありますので、今年もそういう意味において一層の努力はしていかなければなりません。

あかつき作業所は当法人の中では一番歴史が古く特に賃金・工賃等の所得保障については施設の立ち上がりより体系を変えながらも一番の目標にあり、その時々々の社会情勢と闘いながら「共に働く 共に生きる 共に創る」精神を貫いてきた施設

であります。今年の社会情勢の厳しさは、前述のように過去例をみないような状態になりそうですが、職員、利用者とも一致団結したチームワークで乗り切りたいと考えます。今年もどうぞよろしく願います。

就労移行支援

セルブあかつき

施設長 赤星 洋子

謹んで新春のお慶びを申しあげます。

昨年は「東日本大震災」という未曾有の震災で日本中が深刻となりました。ご逝去されました方々には、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

地震と津波だけでも大変な被害ですが、それに加えて人類史上最悪と言われる原発事故が起こってしまい、現在も解決の目途すら立たない状況になっています。

本年は辰年です。辰は、漢書によると「振（ふるう、ととのう）」という意味で、草木が盛んに成

と決めてから、そうやって色々な方とのご縁があり、ご協力頂きました。お陰様で、彷徨える分厚い霧も何とか二、三里位にはなってきたのではないかと思います。本当に皆様には感謝しています。

様々な方のお力を借りてきました。が、勿論この短い準備期間で十分に力がついたとは言えません。更には、職員ばかりが腕を上げての意味がないのです。課題はまだまだ山積みです。今年からいよいよ本格稼働に向け、動き出します。のんびりとはしてられません。が、大切にこの事業を育てていきたいと考えております。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご発展をお祈りして年頭の挨拶とさせて頂きます。本年も宜しくお願い致します。



就労継続支援B型

瑞穂町福祉作業所さくら

施設長 熊谷 昌博

新年、明けましておめでとございます。

長し形が整った状態を表すそうです。一日も早く被災地の復興が進み、被災された方の痛んだ心が和らぐ一年でありますよう心よりお祈りいたします。

さて、自立支援法が施行されて5年が経過致しました。改訂を繰り返しながらもノーマライゼーションの理念の浸透により、障害をもつ方々の社会参加が進んでまいりました。武蔵村山市でも、企業様の協力により障害者雇用及び実習の場の提供など少しずつ拡がっております。ご協力いただいた企業様には大変感謝申し上げます。尚、地域に於きましても昨年「自立支援協議会」が立ち上がったことで、障害者雇用の地域理解が進み、更なる雇用に結びついていく事を願っております。

あかつきコロニーでは近年就労支援に力を入れており、「武蔵村山市の障害者就労支援センター」とらい「瑞穂町障害者就労支援センター」、知的及び身体障害をお持ちの方を対象とした「就労移行支援セルブあかつき」、精神障害をお持ちの方を対象とした「スペース・まどか」と三障害全ての方の訓練及び支援を行う、

早いもので、当所として二回目の新年を迎えることになりました。昨年は振り返ってみますと、やはり東日本大震災抜きには語れないように思います。多くの方々が被災さ

れ、津波でご自宅を失われた方、福島第一原発の事故により避難を余儀なくされた方も数多くいらっしやいます。一日も早い復興を願っております。東日本大震災は、経済面においても多大な影響を及ぼしました。さくらでは自動車関連のダンボール加工を、日々の作業として行なっています。が、震災後は受注が止まり、回復には夏ごろまでかかりました。幸いにもメインの箱折り作業に影響がなかったことが大きな救いとなりました。

一方、うれしい話題もありました。瑞穂町障害者就労支援センターを当法人が受託したことです。昨年10月に瑞穂町の委託を受け、二ヶ月間の準備期間を経て、12月1日に開所しております。今回の就労支援センターの開所は、同じ瑞穂町に、そして何より近くで当法人の仲間が働いてい

特色ある施設に変わってまいりました。就労に行きつくまでの訓練の必要性や就職準備支援のあり方など、企業様や各市障害者就労支援センターからご意見や情報等をいただきながら、より良い支援が出来るよう日々奮闘しております。

尚、セルブあかつきでは、昨年4月から武蔵村山市より委託を受けて「おむつの給付事業」を開始いたしました。が、利用者への有効な訓練作業として現在ではすっきり定着し、2名の就職者を出すことができました。利用者間にも就職への意欲が少しずつ拡がっているような気がします。

さて、昨年はいろいろな方々との出会いがあり、ご協力や情報提供をいただきました。これからもお一人お一人との出会いを大切にさせていただきながら、太いネットワークのパイプラインを築けていけたらと思います。

最後に、辰年にちなみ「盛んに成長し、整う」を目標に、これからも職員一同切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思ひます。皆様、今後ともよろしくお願ひ申しあげます。

という心強さを感じさせてくれます。また、当所の利用者が一般就労に向けての相談をすでに始めており、今後もしっかりと連携を深めて行きたいと考えています。

さて、本年の当所の目標ですが、まず、利用者工賃の増額を目的とした事業展開を図って行くことです。受注作業での工夫や拡大と合わせ、自主製品では、手作り石けんと共に、昨年取り組み始めた手作りカレンダーの充実を考えています。また、常時販売できる拠点の確保も課題となります。

次に、リスクマネジメントの強化が挙げられます。東京都内の施設において起こった事故や事件の情報が、東京都を通じて入ってきています。事故、事件の予防について徹底して行きたいと考えています。

また、内外の研修を通じて職員のスキルアップを図り、利用者支援のさらなる充実を図って行きたいと考えています。

最後になりますが、本年も、皆様にとって幸多い年となるよう願っております。

瑞穂町福祉作業所 さくらの近況報告

課長 五十嵐 崇

さくらの平成23年10月から12月までの近況報告を致します。

現在、利用者は定員30名のところ、24名の方が在籍、通所されています。利用者の方々は、日々の仕事、そして、行事について積極的に取り組んでいます。

毎年、この10月から12月までは、特に行事が盛りだくさんです。が、利用者の皆さんにとっては、とても楽しみにしている行事なのです。

10月の「日帰り旅行」では、群馬サファリパークに大型バス1台を貸し切り、行き帰りのバスでは、DVDを見たり、カラオケをしたりして楽しみました。また、サファリパークでは、大型バスに乗ったまま様々な動物を見たり、途中、バスから降りて、うさぎとかと触れ合ったりしました。特に、普段、テレビなどでしか見られないライオンを間近で見たり、迫力のある声が聞けたりしたことは、とても貴重な体験が出来たと思います。

それから、今回2回目の参加となりました「福祉ふれあいまつり（10/30実施）」、「産業まつり（11/12、13実施）」では、模擬店を出し、自主製品等の販売をおこなっていました。

今回から、初めて「さくらカレンダー」の自主製品の作成に挑戦をしました。このカレンダーは、利用者の皆さんが絵具や

クレヨンで描いた絵を各月に配置し、手作りで作成しました。とてもきれいに仕上がりが、完成したカレンダーに職員間でも感動しましたし、さらに、利用者のご家族の方々にも喜んでいただくことが出来ました。

今回、カレンダーの宣伝、販売では、利用者のご家族の皆様、また、あかつき本体の皆様にも、ご協力をいただき、大変にありがたうございました。当初、考えていた以上に売り上げることが出来ました。

最後に、今後も利用者の皆さん、また、ご家族の皆さんにさくらに来て良かったと言っていただけ、また、喜んでいただける作業所づくりに職員一同、力を合わせてがんばっていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。以上



忘年会

課長 大滝 実

23年の仕事納め、12月28日に恒例の忘年会が行われました。

昨年度から納会終了後の13時開始となり、昼食を兼ねた盛大な催し物となり参加者の方には大変、好評の会となっております。

参加数も100名なので4階食堂では全員、入り切れず3部屋に分かれての開催となりました。

わたくしも忘年会委員として、ご利用者の皆様に楽しんで頂くにはどのような事をすれば良いかと検討し昨年度の反省点も踏まえ、会議の中で熟考しました。

その中で司会を利用者の方にお願ひしてみるという案が出てセルプあかつきの嶋田直人さんに白羽の矢が立ちました。ご本人も快く承諾してくれて進行の練習を必死の努力で臨みその努力のお蔭で大変、温かみのある会となり委員として大変、感謝しております。

司会の進行で会が始まり、10分程、歓談後カラオケタイムとなりました。あかつきコロニーには歌手やアイドル顔負けの達人が沢山いる事から、



振り付けで歌われ、観客からの大声援を受けて大盛況でした。

毎年恒例の部署対抗ゲームではロシアンルーレットゲームとイントロクイズを職員対抗、利用者対抗と分け実施しました。

各部署の代表者も大変な思いで頑張って頂きました。なかなか、正解が出ず悔しがる方もいました。しかし、部署方々が一致団結して熱い応援を送る姿は感動しました。

また、来年もみんなで大騒ぎをして、交友を深める忘年会が出来たらと思っています。

瑞穂町障害者 就労支援センター 開設

平成23年12月1日より、社会福祉法人あかつきコロニーが瑞穂町から「瑞穂町障害者等就労支援事業」の委託を受け、「瑞穂町障害者就労支援センター」が開所しました。これまで、あかつきコロニーが、「共に働く、共に創る、共に生きる」という理念を、長きにわたり、追求してきた歴史と、就労継続支援A型を行い、就労移行支援事業や就労支援センター、就労継続支援B型などの実績により、この度瑞穂町から委託を受けることに至ったと考えております。

また、平成20年6月より武蔵村山市の委託を受け、「武蔵村山市障害者就労支援センター」といって実施してまいりました。その中で共にスキルを深め、ノウハウを培ってきた仲間が、今回それぞれ瑞穂町と武蔵村山市に分かれ、それぞれの支援センターを担っていくという体制となり、より幅広い地域の中で、法人の職員として、活躍の場が広がっていくことを大変うれしく思っております。

さて、この度の開所に伴い、新人紹介の欄でもご紹介させていただきますが、新しくスタッフを2名迎え入れました。それぞれ各分野で活躍されてきたスタッフですので、より深い専門知識をもつて、社会福祉法人あかつきコロニーの職員として、一緒に同じ方向を向いて、歩んでい

ていただけることと確信しております。近いうちに、各部署・各関係機関の皆さんにご紹介できればと考えております。社会福祉法人あかつきコロニーは、障害のある方の就労支援を行う法人として、地域の中で中心的な役割を担っていくことがますます求められ、法人の歴史の中で培ってきた「共に働く」という考え方を、施設と企業との関係に留まらず、地域社会の中や一般企業の中で、理念を深化し、実現していく時期に来ていると実感しております。障害のある方もない方も共に手を携え、事業及び働く場を開拓し、法人が一体となり、理念の実現を目指していきけることを心より願っております。

加藤 誠



新人紹介

みなさん
よろしくお願い
しま～す!



■10月1日に作業部一課に入りました。
一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いします

作業部一課 越智茂明



■9月から給食部に入りました。
あかつきコロニーのよう
な福祉施設で働くのは初め
てです。宜しくお願いします。

給食部 松本富士男



■漢字を見ると、元野球選手の新庄を連想される方もいらっしゃると思いますが、全く親族でも何でもありません。瑞穂町障害者就労支援センターにいますが、時々武蔵村山の支援センターに顔を出しますのでその時は声をかけてください。

瑞穂 新庄弘典



■はじめまして、村尾と申します。最近まで介護支援専門員として働いていましたが、元は精神障害者の方の就労支援に携わっていました。働きたいと願う障害者の方の心に寄り添う支援を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

瑞穂 村尾リリ子



■昨年の12月26日から、就労移行へ入りました松林優果です。あかつきコロニーの一員として、早く作業に慣れ、就職に向けて頑張りたいと思います。いたらない部分もありますが、どうぞよろしくお願い致します。

就労移行 松林優果



■セルプあかつきに入社しました渡辺です。福祉の仕事は初めてですが、この仕事を通じて、地域社会に貢献できるよう日々努力していきます。これから未永く宜しくお願い致します。

就労移行 渡辺健二

主な事柄

出張・研修

1月	5 新年会 27 床清掃	1月	5 武蔵村山市長挨拶 7 瑞穂町長挨拶 11 相談支援2日研修 14 あきるの学園(大滝) 17 都庁業務連絡会(遠藤) 相談支援2日研修 20 就労支援営業セミナー (藤澤・岡部 19日) (大月・長沼) ゼンコロ事業プロジェクト (網嶋)	3月	23 授産連委員会(遠藤) 就労ネット(高橋・加藤)	3月	3 ゼンコロ理事会・総会 (湯澤・高橋)	7 革細工機械見学 (高橋・赤星・遠藤)	17 東社協研修 (高橋・郡山・稲積)
2月	14 エレベータ点検 セルプあかつき保護者会 火災避難訓練	2月	1 東社協総会(高橋) 授産連企画委員会(遠藤) 多摩総研修(遠藤) ゼンコロ運営委員会(高橋) 正夢の会10周年(高橋) 地域災害活動相互応援協定 施設連絡会(遠藤) 業務連絡会(遠藤) 就労支援アセスメント研修 (郡山・藤澤)	4月	8 業務連絡会(遠藤) 審査会全体会(高橋・遠藤) 就労ネット(加藤) 授産連委員会(遠藤)	4月	24 就労ネット(高橋・加藤) 業務連絡会(遠藤) ゼンコロ企画プロジェクト (高橋)	23 授産連総会(遠藤) ゼンコロ企画プロジェクト (遠藤)	29 就労ネット(高橋・加藤) 学校運営協議会準備会 (高橋)
3月	11 東京都まじか実地検分 消防設備点検 理事会・評議員会	3月	1 東社協総会(高橋) 授産連企画委員会(遠藤) 多摩総研修(遠藤) ゼンコロ運営委員会(高橋) 正夢の会10周年(高橋) 地域災害活動相互応援協定 施設連絡会(遠藤) 業務連絡会(遠藤) 就労支援アセスメント研修 (郡山・藤澤)	5月	13 ゼンコロ運営委員会(高橋) 業務連絡会(遠藤) みやぎ支援センター派遣 (遠藤・押川・戸村21日迄) ゼンコロ事業プロジェクト (網嶋19日迄)	5月	18 就労ネット(高橋・加藤) ゼンコロ事業プロジェクト (網嶋19日迄)	27 就労ネット(高橋・加藤)	
4月	12 全体報告集 アンテナ工事 床清掃 地震避難訓練	4月	1 東社協総会(高橋) 授産連企画委員会(遠藤) 多摩総研修(遠藤) ゼンコロ運営委員会(高橋) 正夢の会10周年(高橋) 地域災害活動相互応援協定 施設連絡会(遠藤) 業務連絡会(遠藤) 就労支援アセスメント研修 (郡山・藤澤)	6月	2 ゼンコロ理事会・総会 (湯澤・高橋3日迄)	6月	14 業務連絡会(遠藤) 栄養管理講習(神山) お伊勢の森運営委員会 (遠藤)	15 村山市長挨拶 (鈴木・湯澤・高橋)	
5月	1 日本財団自販機搬入 空調切替 春季レク(サイボク) 理事会・評議員会 ボーリング大会(知的障害者16名参加) エレベータ点検 消防立入検査 湯澤理事長送る会	5月	1 東社協総会(高橋) 授産連企画委員会(遠藤) 多摩総研修(遠藤) ゼンコロ運営委員会(高橋) 正夢の会10周年(高橋) 地域災害活動相互応援協定 施設連絡会(遠藤) 業務連絡会(遠藤) 就労支援アセスメント研修 (郡山・藤澤)	6月	2 ゼンコロ理事会・総会 (湯澤・高橋3日迄)	6月	14 業務連絡会(遠藤) 栄養管理講習(神山) お伊勢の森運営委員会 (遠藤)	15 村山市長挨拶 (鈴木・湯澤・高橋)	
6月	15 全体報告集会 火災熱感知器増設工事 耐震診断工事	6月	1 東社協総会(高橋) 授産連企画委員会(遠藤) 多摩総研修(遠藤) ゼンコロ運営委員会(高橋) 正夢の会10周年(高橋) 地域災害活動相互応援協定 施設連絡会(遠藤) 業務連絡会(遠藤) 就労支援アセスメント研修 (郡山・藤澤)	6月	2 ゼンコロ理事会・総会 (湯澤・高橋3日迄)	6月	14 業務連絡会(遠藤) 栄養管理講習(神山) お伊勢の森運営委員会 (遠藤)	15 村山市長挨拶 (鈴木・湯澤・高橋)	

湯澤理事長の退任

5月末をもちまして湯澤理事長が退任されました。昭和60年にあかつきコロニーに入社し、平成9年に開設したセルプあかつきの施設長となり、平成18年から理事長に就任され、長年にわたり当法人に尽力されてきました。今後は理事としてあかつきコロニーの運営に関わっていただきます。

また湯澤元理事長から1000万円のご寄附を頂きましたことをご報告いたしますとともに、この場をお借りして御礼申し上げます。

本当に長年にわたり有難うございました。

入所・退所

入所	退所
3月 吉田 直矢(就労移行)	5月 黒沢 亮太(就労移行)
4月 谷口しおり(就労移行)	片山 卓哉(就労移行)
大當 健伍(就労移行)	
嶋田 直人(就労移行)	
青木 涼(就労移行)	
三戸亜希子(就労移行)	
7月 中渡 義昭(作業二課)	

編集後記

暑い日が続いておりますが、皆様体調はいかがでしょう。昨年は大変な猛暑でしたが、今年はいくらか過ごしやすく感じます。電力の節電が求められている中、当所も出来るだけの節電には努めています。利用者の健康が一番大切なので無理な節電対策は行っておりません。

それでも皆様のご協力のもと節電の効果が出ており、7月の今年度と前年度の比較では一日当たり13%の節電となっています。

福祉施設での節電は難しい面もありますが引き続き努力をしていきます。